

●第64号へ一九七九年二月へ
特集・市民の食料と食生活

わが国の食料事情——内山和男
現代日本人の食生活——成田 功
市民のたべもの——久保田植男
食生活と健康——笠原久弥
食品添加物を考える——鈴木ヤエ
牛肉の流通と牛の飼育・販売——竹井二三子
味・ざつくばらん——黄 成武
食料をめぐる消費者活動——多根雄一

行政研究
大型店進出問題と都市産業政策——細谷 延
土地利用現況の総合的把握と活用——反町良雄

横浜と東京都市圏の交通——田代 透
木下久昭
伊藤 勲
佐藤泰一

新書紹介
日本産業の課題—公害問題の考え方——森 清和

●第65号へ一九八〇年三月へ
特集・横浜の国際性

市民と国際性——山極 晃
国際都市「横浜」をどのように受けつぐか——外岡 勲
自治体経済交流の手法と展望——原田正成
街づくりと国際性——小沢恵一
行政の国際性——内藤悖之

①一職員として国際性ということを考える—佐々木寛志
②開発途上国にみた国際的都市ナイロビ——牧田修俊
市民の国際交流活動

①「国際交流を考える市民の会」の活動——横瀬多喜

●第66号へ一九八〇年六月へ
特集・歩行者空間

人・道・町——望月照彦
歩行者空間とまちづくり——西脇敏夫
横浜市の道路網整備と歩行者空間——金近忠彦
横浜市における歩行者専用道路の現状——三浦 良
歩行者空間の整備計画と課題——遠藤包嗣
社会的弱者からみた歩行者空間——杉山 彰
都心部の歩行者空間——安藤健二

②「横浜国際交流ボランティアの会(YKV)」の活動——小山八千代
横浜在住外国人の市民生活——加藤勝彦
戦後横浜海外交流史——東海林静男
関連資料——都市科学研究室

行政研究
建築詳細計画と大型店進出問題——前田 寿

新書紹介
ソフト・エネルギー・バス——富永 修

●第67号へ一九八〇年九月へ
特集・市民と健康

健康とは何か——六戸昌夫

行政資料
歩行者空間の整備——歩専道研究プロジェクト・チーム

行政研究
市民の提案による「二十一世紀への横浜の街づくり」——石毛良夫
これからの住宅政策——芳賀宏江

新書紹介
都市——岡田優子

●第66号へ一九八〇年六月へ
特集・歩行者空間

人・道・町——望月照彦
歩行者空間とまちづくり——西脇敏夫
横浜市の道路網整備と歩行者空間——金近忠彦
横浜市における歩行者専用道路の現状——三浦 良
歩行者空間の整備計画と課題——遠藤包嗣
社会的弱者からみた歩行者空間——杉山 彰
都心部の歩行者空間——安藤健二

行政資料
歩行者空間の整備——歩専道研究プロジェクト・チーム

行政研究
市民の提案による「二十一世紀への横浜の街づくり」——石毛良夫
これからの住宅政策——芳賀宏江

新書紹介
都市——岡田優子

●第67号へ一九八〇年九月へ
特集・市民と健康

健康とは何か——六戸昌夫

横浜市民の健康と生活環境をめぐる——助川信彦
健康を考える——蕪木秀枝

栄養からみた横浜市民の健康——田沼順子
子ども(児童・生徒)の健康——荒井正己
公害と市民の健康——鈴木 祥

地域ぐるみのスポーツ活動——齊藤忠義
①大正スポーツ村構想の試み——石井 昇
②地域に根ざした健康づくり——笠井久称

環境に耐える体力づくり——笠井久称

行政研究
スウェーデンの老人福祉——松村祐子
歩行者空間ネットワーク構想について——宮脇克己

新書紹介
住宅政策の提言——小熊 勇

●第67号へ一九八〇年九月へ
特集・市民と健康

健康とは何か——六戸昌夫

行政資料
歩行者空間の整備——歩専道研究プロジェクト・チーム

行政研究
市民の提案による「二十一世紀への横浜の街づくり」——石毛良夫
これからの住宅政策——芳賀宏江

新書紹介
都市——岡田優子

●第66号へ一九八〇年六月へ
特集・歩行者空間

人・道・町——望月照彦
歩行者空間とまちづくり——西脇敏夫
横浜市の道路網整備と歩行者空間——金近忠彦
横浜市における歩行者専用道路の現状——三浦 良
歩行者空間の整備計画と課題——遠藤包嗣
社会的弱者からみた歩行者空間——杉山 彰
都心部の歩行者空間——安藤健二

行政資料
歩行者空間の整備——歩専道研究プロジェクト・チーム

行政研究
市民の提案による「二十一世紀への横浜の街づくり」——石毛良夫
これからの住宅政策——芳賀宏江

昭和55年(1980年)12月31日

編集・発行——横浜市都市科学研究室

横浜市中区港町1-1

電話——045・671-2011・2029 郵便番号——231

印刷——西岡印刷株式会社

横浜市南区吉野町5-22

●横浜市のデータ

人口——2,773,822人<55.10 国勢調査>

世帯数——924,269<55.10 国勢調査>

面積——426,71km²<55.10>

65歳以上人口 179,122人<55.10.1 推計>

ひとりぐらし老人 5,674人<55.6.1>

在宅ねたまり老人 3,042人<55.10.1>

老人ホーム定員数 1,475人<55.3.31>